

関連学会印象記

第11回 Society of Cardiovascular Anesthesiologists 総会に参加して

堂 崎 信 一*

第11回 Society of Cardiovascular Anesthesiologists (SCA) 総会が、米国シアトル市のシェラトンホテルおよびコンベンション・センターを会場として開催された。SCA は、ASA の関連学会の一つで毎年開催されている。会期は1989年4月16日～19日の4日間で、丁度第36回日本麻酔学会の直後であり、日程上かなり厳しいものがあった。今回、筆者は初参加であり、見るもの聞くもの全て真新しさを禁じ得なかった。

プログラムは、パネル・ディスカッション10、口演48、ポスター・ディスカッション2、ポスター演題129で、4会場を使って行われたが、国内の学会とは発表形式がかなり異なっており、とくにポスター演題は、他の演題の空き時間（コーヒー・ブレイクおよび昼食時）にあてられ、司会者もつかず、一日3回限られた時間に自分のポスター発表の傍にいて、質問に答えるというものであった。また、はっきりとした教育講演がなく、パネル・ディスカッションがそれに相当するよう思われた。口演の数も国内学会に比べ非常に少なく、ポスターでじっくり見てもらう意図と感じられた。

第1日目は、登録と Optional Workshop（個々に登録が必要）のみで、実際の開会式は、第2日目午前8時から行われた。筆者は第2日目のポスター発表だったので、他の会場には殆ど行かず、参加者はそれほど多いとは感じなかったのは、自分の演題が心臓血管麻酔とは直接関係のないものであったせいではなかったかとも思った。ポスター発表の会場は、医療機器、製薬会社の展示会場と同じフロアで、これも日本とは大分違っていると感じた。多くの会員が up-to-date の医療機器に接することを考慮してのものといえる。

第3日目は、前日よりも参加者が多く、各会場とも盛況であった。とくにセッションCの Cardiothoracic Trauma は会場が満席で、立ちなが

ら聞いている人も多く見受けた。

第4日目は午前のみで、JANSSEN 社後援による人工心臓の教育講演が行われた。その後、Update Series と銘打って alpha-2 adrenergic receptors and anesthesia について討論され、最後に Anesthesia Ground Rounds のパネル・ディスカッションが発表された。

医療機器に関しては、経食道カラー心エコーが人気を集めていたようだ。

全体的にみて、学会自体が心臓血管麻酔に限られたことなので、発表もテーマが絞られ、かなり深く追求されていた。

日本からの発表は、筆者を含め北海道大学から3題、帝京大学から1題および徳島大学から留学中の先生が2題で、やや物足りなさを感じたのは筆者だけではあるまい。東京女子医科大学の藤田昌雄教授と徳島大学の斉藤隆雄教授も日本循環制御医学会の代表として参加されていた。

第12回総会は、Florida の Orlando で開催される予定である。

今後は、日本で心臓血管麻酔に携わる麻酔科医の多くの参加を期待したいと思う。

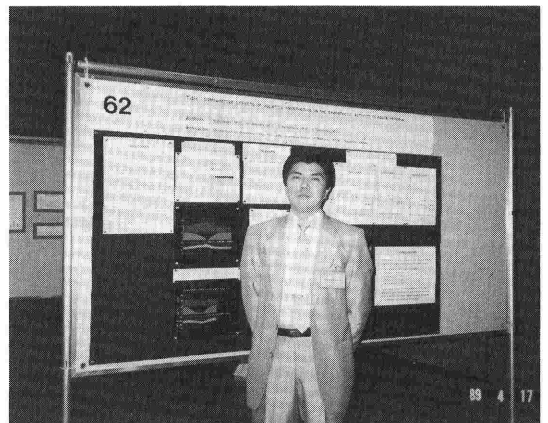


写真 ポスター発表と筆者

*北海道大学医学部麻酔学講座